

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうすさくら流山教室

保護者等数(児童数) 28名 回収数 27件 (割合96%)

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	2		2		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	7	1	3	利用日の日数を減らさなければいけなかったのではどちらともいえない。	産休育休の指導員が戻ってくる等、安定した指導員の確保が出来次第規模を元に戻す方向性です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	4		2	階段がやや急に感じる。	建物の構造上の問題で直接的な対応が難しいです。前後に指導員がいて子どもがけがをしないよう十分留意して対応していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	1		1	面談等で教室に行くといつもきれいです。情報刺激が少なく落ち着きやすそうです。	今後も継続して環境維持に努めます。
適切 な支 援の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	25	1		1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24	1		2		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	26			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		1	活動の見学をしていないのでわかりません。	申し出があれば保護者様の活動見学可能です。周知していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	25	2			色々な活動プログラムで経験が増えて感謝です。毎回活動の内容が違うので本人も楽しそうです。	今後もお子様の成長に合わせて活動内容を考え支援していきます。
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	3	3	14	こぼん以外での交流を特に望んでいません。	教室としても他施設との交流は予定していません。放課後児童クラブを併用しているお子さんのクラブとの情報共有は必要に応じて検討していきます。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	27				イベントの説明をLINEでしてくれるので有難いです。	今後も抜けが無いように丁寧に説明していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	27					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	25	1		1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1			定期的に面談があります。	定期面談の他にも対応していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	27				いつも話を聞いてくれて有難いです。いつも親身になってくださりありがとうございます。	今後も相談しやすい関係を築いていこう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	21	5		1	新松戸第二教室での開催が多く、距離があるので参加をためらってしまう。保護者会は参加したがきょうだい向けのイベントは無かったと思う。懇談会で他のママやパパの話が聞けてとても癒されました。	今年度はきょうだい児も参加できるイベントは実施しておりません。次年度開催する方向で検討いたします。

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	27				電話やLINEリトムで気軽に子どもの様子を相談できます。	今後も保護者の皆様が相談しやすい環境設定に努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	26	1			活動の様子を写真で見れるのが嬉しいです。	LINEやInstagram等のSNSを通して発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23	2		2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	23	3		1	緊急連絡先をもらっています。しっかり対策されている印象ですが説明をされた記憶が無いです。	今後保護者会で改めて周知させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	22	3		2	避難訓練の活動が入っています。	継続して訓練活動を今後も実施していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	3		1	子どもから活動の様子を聞くことされている印象ですが保護者への説明周知は記憶が無いです。	今後保護者会等で改めて周知させていただきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	2		2	ケガをしたことが無いのでわかりません。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	25	1		1	子どもに反応が無いのでわかりづらいです。	子どもが安心して通所できるように支援していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	2		1	子どもに反応が無いのでわかりづらいです。ごはんをいつも楽しみにしています。	子どもが楽しみながら様々な経験が積めるように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	25	2			いつもありがとうございます☆ 一生懸命子どもを知ろうとする姿勢が伝わってきて安心します。子どもが中学生になっても通えたら良いです。学習タイムの強化をしてほしい。	学習タイムの強化に関して、今年度は昨年度よりタイムの時間を長くして支援しております。

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 流山教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	十分なスペースが確保されていて室内運動遊びを展開する事も出来る。	使用方法に改善の余地があるスペースがあるので今後要検討。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	十分に職員数が配置されている。欠勤が出た場合も他教室と連携をして充足している。	特記無し
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	部屋名をつけたり、色やテプラで物の場所を示して、視覚的に分かるように配慮している。	玄関前の階段に手すりを設置してほしいが、共有スペースのため難しい。継続して、指導員の声掛けや位置によって階段昇降時の危険回避に努める。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	日々清掃と遊具の消毒を実施している。チェックリストを作成して教室全体の清掃を日々行っている。	特記無し
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個別の部屋があり、子どもが気持ちを落ち着けたり、切り替える時に使用できる環境を設けている。	子どもが個別の部屋に依存しすぎないような配慮とバランスは考える必要がある。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	終礼時に振り返りを行い、次の日に共有するため内容をノートに記入している。定期的なミーティングを行って、業務改善に取り組んでいる。	活動内容の目標設定や振り返りに次に生かす為のスキルアップも必要と考える。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	評価表をまとめたものを保護者会等で伝えている。	階段への手すり設置等教室単体では対応が難しい課題は解決できず、指導員の支援で安全を図っている。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	定期ミーティングを実施して運営や療育に関する課題等を発信改善している。	課題への改善策や決定事項を全職員に周知する事を徹底する。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	外部評価の実績は現在無し	特記無し
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	社内で月に1回研修を実施している。療育時間の隙間でこぼん本部のオンライン研修などに積極的に参加している。	今後も積極的に職員に研修参加を促す必要がある。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	療育時間の隙間でこぼん本部のオンライン研修などに積極的に参加している。	児童の課題に対し、今後も適切なプログラムの提供ができるように職員間で連携していく。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	作成の際に保護者との面談と指導員でのカンファレンスをして作成している。	今後も児発管・職員間の情報共有を行い、ニーズや課題点を共有する。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	関わり比較的多い指導員からの意見を元に指導員児発管共通認識を持って作成している。	常に計画を作成する上で、子どもの最善の利益と保護者の願いと指導員の考えいずれかに寄りすぎない様に意識して作成する。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	記録にまとめて全員が目を通せるようにしている。	計画に対してどのように活動計画をたて、療育を行っていくか、今後も職員間で連携を取る。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1	利用者から提供されたアセスメントツールの結果も共有し児童理解に努めている	代表的なアセスメントツールの理解を指導員に広げていく必要がある。日々の行動観察においてめだ
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	本人支援や家族支援・移行支援を具体的に設定し記載している。地域支援に関しても小学校と連携をとっている。	今後も児童の状況やご家庭の状況に合わせて、適切かつ具体的な支援を設定できるようにする。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	各指導員がプログラム案を出して作成している。	特記無し
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	同じ活動名の中でアプローチする所を変えた目的設定をしている。	活動名の工夫と今後も固定化しない工夫を加えていく。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	集団活動を主としているが、子どもや支援内容に合わせて個別活動を組み合わせている。	個別活動による支援が必要な場合は専門的支援につなげていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼時に職員間で打ち合わせを実施している。	長期休み期間は送迎時間も早く満足な打ち合わせ時間を取りづらいのが課題である。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	終礼時に活動の振り返りを実施している。また、LINEやノートを使い休みの指導員にも共有している。	支援内容の振り返りと子どもの個別事案の共有等が連続してしまいカンファレンスと支援内容の線引きが課題と感ずる。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	23 定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半期に一度保護者と面談モニタリングを実施している。	今後も児童の状況に合わせて早めのモニタリング・支援計画の見直しを行う。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	5	0	適切に組み合わせることで活動を行っている。	指導員の理解度をより深めていく為にミーティングや研修で伝える必要がある。
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	会議形式の活動を通して自ら選んで意見を出せるように支援している。	発達への緩やかな児童の自己決定の経験を積み重ねていく必要がある。
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	児発管と指導員が帯同して参画している。	今後も関係機関連携を進めていく。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	特定の医療機関と連携している。	各関係機関と連携をとっているが更なる包括的な支援体制の構築は今後の課題である。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	1	送迎時、または電話やLINEで保護者と連絡を取って確認している。	学校との連携は限定的で今後はすべての学校と連絡調整の枠組みの策定を目指す必要性を感じる。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	小学校入学後に、就学前の通所機関と連携は取っていない。就学前の年長児は幼保小引継ぎ会で各小学校に情報提供をしている。	特記無し
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	対象年齢の利用者は現在無し。	数年後必要になる可能性があるので情報収集を行う必要がある。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	事業所が集まる連絡会でスーパーバイズを受けることが出来る。	助言や研修を受ける機会は今後も継続して設けていく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	5	外部の児童と触れ合うことはあるが、積極的に活動の機会は作っていない。	現在交流する予定は無いが利用者からの希望があれば検討する。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	協議会主催の研修に参加している。	協議会自体には参加していない。
	34 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	面談以外にも送迎時、リトムやLINEを使って保護者にお伝えしている。	特記無し
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	定期的にペアレントトレーニングや子育て勉強会を実施している。	保護者向けの研修を充実して、保護者が参加したくなるような工夫も必要と感じる。
保護者への説明等	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時、また規定が変わった際に都度説明している。	説明が抜けてしまう等のヒューマンエラーが起きないように指導員の理解を今後も深めていくように努める。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	面談時に保護者から意向を聞いて反映している。	発語や意思の表出が難しい利用者の場合は保護者の意向を元に反映せざるを得ない。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談時に保護者と共有して計画に反映している。	特記無し
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時、LINE、リトム等で相談があった場合電話や対面での面談を実施している。	特記無し
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会懇談会を設けて保護者が交流する機会を設けている。	きょうだい同士が交流する機会は今年度実施出来ていない。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情があった際に指導員間で共有し、迅速に児発管が対応するようにしている。	今後も情報共有を徹底して迅速かつ丁寧に対応していく。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	紙媒体で定期的にお便りを発行している。またSNSを使って活動概要の発信をしている。	いずれも更新頻度を少し上げるように努めていく。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の取り扱いに関して様々な場面でのリスクを考えて厳重な取り扱いを周知している。	今後も留意していく。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	視覚的に分かりやすく伝えるために絵カードや写真を用いて説明する配慮をしている。	今後も対応の工夫を続ける。
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	行事には保護者と家族しか呼んでいない。	今後お祭り等の行事に地域の方を招待する、規模を広げるかは検討。

非常時等の対応	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	災害別に分けて訓練を実施している。	今後も定期的にBCP訓練を実施する。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	アセスメントシートに記載して、全体共有している。	指導員事務室内に掲示して常に確認出来るようにしている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	医師の指示書が出ている程度の食物アレルギーのこどもはいない。	食事提供は無いが、児童のアレルギー苦手なものを掲示しておやつ提供時に確認している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全計画を作成し、適切な研修や訓練も行っている。	大きな地震が来た時の備えや、近隣の河川の氾濫時の対応も考え訓練に盛り込む必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	災害に応じた避難先と連絡先を明記したカードを保護者に配布している。	次年度は引き渡し訓練を実施する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハット報告書を作成している。	ヒヤリハット報告書の確認も含めて指導員間で意識を高く持って取り組んでいる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	防止委員会を設置している。	虐待防止研修やチェックシートの記入をして意識を高く持って取り組んでいる。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	0	5	現時点で実施無し。今後実施の必要があると感じる児童が入った時に本当に実施に至るのか疑問がある。	対象の児童が入所後に記載を確実に進行。	